令和 4(2022)年
8 月 13 日 82 号
校長　森川哲治

インディアナ日本語学校便り

学校教育目標　自ら学び、正しく行動する国際性豊かな児童生徒の育成

お勉強　がんばるぞ!!

1 年　1 組

1 年 2 組

1 年 3 組

新学期がスタートして、2 週間たちました。子ども達は、すっかり、もとの学習ペースを取りもどしています。また、休み時間は外でよく遊んでいます。天気の良い日は、外でおを食べることもあります。校舎内は、冷房がきいていて学習には快い環境です。

夏休みの出来事（できごと）　6年2組

古川碧人

僕は、夏休みに日本の群馬県に行きました。群馬県には、ぼくのおじいちゃん、おばあちゃんの家があります。その家は、おじいちゃんが作りました。

おじいちゃんの家では、最初に庭でバギーに乗りました。砂ぼこりがすごく、全員が真っ黒になったので、温泉に入りに行きました。夜はみんなですき焼きを食べました。暑かったけどおいしかったです。

次の日は、いとこたちが来て、そのままバンガローに泊まりに行きました。バンガローでは、バーベキューをして、ステーキを食べました。

3日目にはまたおじいちゃんの庭で、バギーに乗りました。他にはまき割りをしたり、ショベルカーに乗せてもらいました。まき割は、初めてやったけれど、上手に割れたので、気持ちよかったです。

群馬では、初めてのことが体験できて楽しかったです。そしてひさしぶりにいとこに会えたのがうれしかったです。

佐々木　登梧

ぼくが夏休みにした事の中で一番楽しかったことは、10日間いろいろな場所に行ったことです。ぼくはまず最初にナイアガラの滝に行きました。ナイアガラの滝は思っていたよりも迫力がありびっくりしました。そして何よりもとてもきれいで、水しぶきがすごい上まで上がって、少し離れても水しぶきが飛んできました。夜にはナイアガラの滝の上で花火や、滝がライトアップされていました。もう一度行ってみたいです。

次にぼくが行ったのはすごく大きいプールです。そこではプールだけでなくゲームセンターや、外で遊ぶためのスペースもありました。そこでは2日間泊り、ずっとプールで遊んでいました。最後の日には、サンドアートをやりました。初めてやったけど、ぼく的にはよくできたと思える作品ができました。

最後に行ったのは、ニューヨークです。ニューヨークに着いたら、まず自由の女神を見に行きました。自由の女神像は、ものすごく大きく、大きさを調べたら、約 93 メートルもありました。ぜひみなさんも行ってみてください。

長瀬　心

私は夏休みにシカゴに野球の試合を見に行きました。

7月26日の CUBS 対 PIRATES の試合です。一番の目的は、鈴木誠也選手を見ることです。観客がとても多く、CUBS ファンでいっぱいでした。私も CUBS の帽子をかぶり応援しました。3階席に座っていたため、何回もファールボールが飛んできました。みんな一生懸命、飛んできたボールを取ろうとして必死でした。昼間の観戦だったけど、日陰になり涼しかったので良かったです。4対1で CUBS が勝ちました。CUBS が勝ったため、球場中大盛り上がりでした。

私も家族みんなで喜びました。とても思い出に残る旅行になりました。

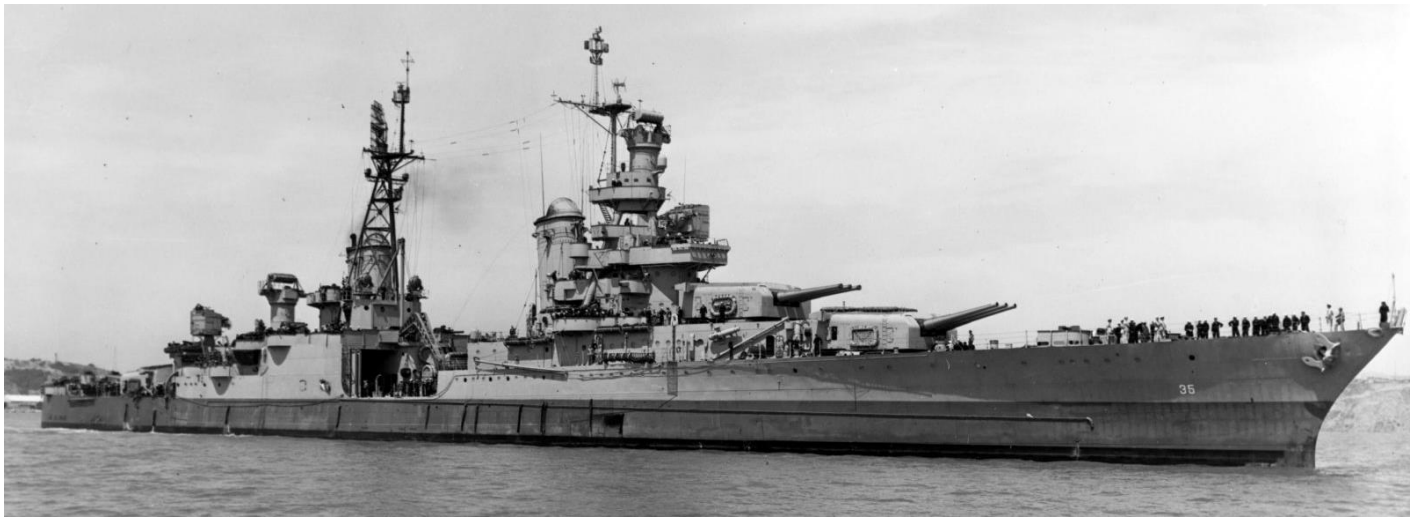
第 2 次世界大戦終わる。1945 年（昭和 20 年）8 月 15 日

第 2 次世界大戦で、昭和 20 年に、日本の広島(8 月 6 日)と長崎(8 月 9 日)に原子爆弾が落とされました。この後、日本の降伏でこの戦争が終わりました。日本にとっては、8 月 15 日は**終戦記念日**となります。

立場を変えれば、昭和 20 年 8 月 15 日は連合国のアメリカが戦争に勝利した日です。また、韓国をはじめ東アジアの国々にとって、日本の占領から解放された解放記念日と受けとめていることも理解していなければなりません。

日本の運命日本の運命にかかわった原子爆弾（原爆）を運んだ『戦艦インディアナポリス』1

－第二次世界大戦で日本の攻撃により沈没した最後のアメリカ海軍の戦艦－



戦艦インディアナポリス　（1945 年 7 月 10 日）

戦艦インディアナポリスは、1932 年につくられ、「インディアナポリス」の名前は、インディアナ州インディアナポリスにちなんでつけられました。その後、たびたびルーズベルト大統領を乗せたりする戦艦でした。

1941 年 12 月 7 日(ハワイ時間)、日本軍が真珠湾(パールハーバー)を攻撃しました(12 月 8 日未明日本時間)。その時、インディアナポリスは、北太平洋で砲撃の訓練を行っていました。日本人としては複雑な思いですが、インディアナポリスは、その後様々な海戦に参加して、日本の空母を撃沈するなどの大活躍をしていました。

インディアナポリスは 1945 年 7 月 26 日、日本に投下予定の原子爆弾用の部品と核材料をテニアン島に運ぶ秘密の任務を果たします。この後、爆撃機 B29「エノラ・ゲイ」機内で原子爆弾「リトルボーイ」の組み立てが行なわれ、8 月に広島と長崎に落とされることになります。

インディアナポリスは原爆を無事に目的地に届けた後、グアム島へ到着します。これから向かうレイテ島方面は、日本海軍の潜水艦が展開している可能性が高く、マックベイ艦長は護衛の駆逐艦が一緒に行くことを要請します。しかし、出払っているという理由で断られてしまいました。やむなくインディアナポリスは一隻で直線コースを取りレイテへ向かうことになりました。さらに、レイテ島に向かっていることが、無電の通信エラーでレイテ島の司令官に伝わっていませんでした。もしインディアナポリスがレイテ島に到着しなくても、味方は気がつかない状況となっていたのです。

このとき、乗組員らは自分たちの位置が日本の潜水艦に発見されていたことにまったく気づいていませんでした。

〈日本側　潜水艦「伊 58 号」 橋本艦長〉

潜水艦「伊 58 号

インディアナポリスを魚雷で撃沈しフィリピン海の底に沈めたのは、潜水艦「伊 58 号」の艦長だった大日本帝国海軍の**橋本以行（はしもと もちつら）**でした。

橋本の潜水艦は、雲と波以外に何も見えない大海原を、敵の姿を追い求めてひたすら進路を西にとっていました。

やがて、はるか前方をまっすぐに向かって来る正体不明の船の影を発見しました。海上には波はなく、橋本艦長にとって月の明るさで、水中での攻撃を可能にしていました。やがて、グングン接近してくる船の影は、かなりの大型艦であることがわかりました。

橋本以行（はしもと もちつら）。

橋本艦長は、はやる心を抑えながらさらに近づきました。そして、至近距離までつめ寄ると 7 月 30 日午前 0 時 4 分、橋本艦長は、魚雷をインディアナポリスに向けて発射するよう指令を下しました。一発必中の構えで魚雷を発射しました。

グンッと鈍い衝激が艦内に伝わり、3 秒間隔で次々と魚雷が撃ち出されました。魚雷は白い跡を残して水中をまっしぐらに突進していきました。

乗員は、潜望鏡にかじりついている艦長の方を見守っていました。緊張した雰囲気の中で 1 分間がたち、やがて、沈黙を破ってけたたましい爆発音が一つ鳴り響きました。続いてもう一発・・・。それは、伊 58 号の放った魚雷が敵艦に命中した爆発音でした。艦内には魚雷命中が伝えられ、乗員は躍り上がって喜びました。

橋本以行艦長は魚雷を 6 本を発射したうちの 3 本が命中、船体を鋭く貫いた魚雷が爆発。2 回目の魚雷が、1 発目が船体に開けた穴に入り込み奥で爆発しました。橋本艦長は、「敗戦が濃厚となった今、ひとつで

もいいから大きな戦果を国にもたらしたかった。」と考えていました。

〈アメリカ側インディアナポリス　マックベイ艦長〉

チャールズ・マックベイ

0 時 5 分、艦に大きな衝撃が走り、マックベイ艦長はベッドから床にたたきつけられます。船は出火し、艦内に白い煙があがり、電気も消えました。日本の潜水艦の魚雷が命中したのです。艦長が全員退去を命じたのは、魚雷命中から 8 分後でした。

船の弾薬庫に命中と同時に爆発し、船は夜空に大きく火柱をあげると、12 分後に転覆、沈没しました。

乗組員約 1200 名のうち 300 人が魚雷攻撃で死亡し、残りの 900 人は海に投げ出されます。

船体が急にかたむいていったために、多くの者が絶叫をあげながら大きなしぶきをあげて海中に滑り落ちていきました。約半数は救命胴衣をつけていたが、後の半数は丸腰のままでした。彼らは立ち泳ぎをしながら、何らかの浮いている物にしがみつきました。

そして、約半数の 13隻の救命いかだが脱出することが出来きました。救命いかだは、1隻あたり 25 人ほどが乗れましたが、いかだに乗ることが出来なかった者は、縁に取り付けられているロープに手をかけて海中につかっているしかありませんでした。くらやみの中で、いかだも、ぐーっと持ち上げられたり、沈み込んだりするたびに、いかだの上の者は、投げ出されたり転げ回ったりを繰り返しました。 大声で祈る声や時たま上がる悲鳴、生存者の多くは、最初の数時間で、いくつかのグループごとに分かれていきました。自分が、果たして生き残れるのか、それともこのまま死んでしまうのか、漂流者の多くは不安でいっぱいで、考える力をなくしていきました。

戦艦インディアナポリスの生存者（1945 年 8 月 グアム）

水面下では、負傷者や死体から漏れ出る血の臭いに誘われてやって来た様々な種類のサメの群れは、暗い海の底からしだいに海面に忍び寄ってきていました。中には、8 メートルを超す巨大なサメもふくまれていました。その数はしだいに増え続け、夜明け頃、最初の犠牲者が出ました。救命胴衣をつけたまま、眠っていた男が、突如、グィッと海中にかき消すように姿を消してしまいました。その後、いくら待っても、救命胴衣も服の切れはしすらも浮かんで来ませんでした。さらに悲鳴とともに海中に引きずり込まれる人が続きました。

サメに襲われないように、海に浮かんでいる者は手をつないで輪を作り、サメ が来れば足を動かしてバシャバシャと波を立てまし た。乗組員たちは 5 日間海に浮かんでいましたが、水、食料の欠乏、昼間は空から照りつける太陽が体を焼き、夜は体温の低下、

睡眠不足、そのために幻覚が見えるようになったり、気力・体力の消耗から衰弱死する者、のどのかわきに耐えきれず海水を飲む者もいて、多数の乗組員が死亡しました。

アメリカ海軍はインディアナポリスの沈没をすぐにはつかむことができず、現場に救助隊を送るのが遅れました。8 月 2 日に飛行機によって初めて発見され、約 900 人の乗組員たちのうち、最終的に救助された生存者はわずか 316 名でした。実に 600 人近い人が、漂流中に亡くなったのでした。おもな原因は救助の遅れと体力の消耗が死亡の原因といわれています。インディアナポリスのマックベイ艦長は生き残りました。

「インディアナポリス号が日本の運命に関わった。」とは、原子爆弾を積んでいる時にインディアナポリスが沈没となれば、50 万人の死者を出した悲惨な原爆投下は遅れ、日本に落とされる前に降伏を決意していれば、原爆の悲惨な被害も避けることができていたかもしれません。歴史には、「もしも・・」はありません。

(83 号へ続く)

参考　日本人が忘れた戦後秘話　森川聡一

【お知らせ】

〇図書係より　　図書貸し出し日　8 月 20 日

〇運動会実施　　9 月 17 日　　（雨で順延　9 月 24 日）

本日の配布物　　運動会のご案内　（家庭数）　　運動会クラスペアレンツのお願い（幼稚部・小 1、2 年生）